

もっと知ろうよ！オキナワ！

第11回 海に沈んだ沖縄の児ら

人権擁護委員会委員 寺崎 昭義 (24 期)

1 はじめに

本土防衛・国土護持のため、時間かせぎのため捨て石とされた沖縄。日本国土で唯一住民を巻き込んでの地上戦が行われた沖縄戦で県民の4分の1が犠牲となったことは、本土でも知られている。しかし、沖縄戦の前年1944（昭和19）年8月22日、米潜水艦の魚雷攻撃によって疎開船対馬丸が撃沈され学童784名らが犠牲となった対馬丸撃沈事件については本土ではあまり知られていない。

2 対馬丸撃沈事件とは

(1) 1941（昭和16）年12月8日にはじまったアジア太平洋戦争、開戦当初は勝ち戦を続けていた日本であったが、翌1942年の夏からは敗戦を重ねるようになり、1944年7月7日、日本軍約3000人が最後の総攻撃を行ったが米軍に反撃され、ついにサイパン島が陥落、米軍に占領された。軍は「サイパンの次は沖縄戦だ」と判断し、政府は、奄美大島や、徳之島、沖縄県の年寄、女性、子供を島外へ疎開させる命令を出した。

日本本土へ8万人、台湾に2万人の計10万人の疎開が予定された。これは安全な場所に避難させ命を守るといよりも、多数の兵士が沖縄に移住した大量の軍の食料を確保し、戦闘の足手まといとなる住民を戦場から退避させ、引き続く戦争の次の戦力となる子供を確保することが真の目的であったといわれている。

沖縄県民の疎開はなかなか進まなかったため、7月19日、県は「沖縄学童集団疎開準備要領」を発令し、学校単位で疎開事務を進め、「半年後には戦争が終わるから」、「みんな一緒に軍艦で行くから」など学童・親を説得し、疎開を行わせた。

(2) 対馬丸（6754トン）は、建造から30年を経た老朽船で、学童らは、真夏に船倉の狭いきゅうくつなカイコ棚のような場所に入れられた。

対馬丸には、家族疎開に伴って幼児も多数乗船していた。

対馬丸は、1944（昭和19）年8月21日夕方、疎开学童、引率教員、一般疎開者、船員、砲兵隊員1788名を乗せ、同じく疎開者を乗せた和浦丸・暁空丸と護衛艦の宇治・蓮を含む計5隻の船団を組んで長崎を目指し出港した。しかし翌22日夜10時過ぎ、鹿児島県・悪石島の北西10kmの地点を航行中、米潜水艦ボーフィン号の魚雷攻撃を受けて対馬丸は沈められた。建造から30年を経た老朽貨物船・対馬丸は航行速度が遅く、船団のスピードについていくのがやっとな潜水艦の格好の標的だったのだ。他の艦船には被害はなかった。対馬丸は貨物を積んでおり、貨物は落下傘の原材料となる蚕のまゆで、米軍の攻撃目標となった。

乗船者のほとんどは船倉に取り残され、海に飛び込んだ人も台風の接近による高波にのまれた。犠牲者数1482名（氏名判明者＝2016年8月現在）。

学童784名と引率訓導、世話人30名が犠牲となった。

魚雷砲撃から沈没までわずか10分間であった。

イカダにすがって漂流した人々は、付近の漁船や海軍の哨戒艇に救助されたほか奄美大島まで流されるなどして生き延びた。

沖縄の地上戦にさきだって、弱い子供たちが真っ先に戦争の犠牲になったのである。

3 「箝口令」

救助された人々に対しては厳重な「箝口令」がかけられ、対馬丸が撃沈された事実を話すことは禁じられた。事件の犠牲者や生存者に関して詳細な調査も行われることなく、沖縄に残された家族に正しい情報が伝わることはなかった。また対馬丸撃沈事件の後、10月10日には那覇を中心に大空襲があり、翌1945年の地上戦では県民の4人に1人が犠牲になるなどさらなる戦争被害を被ったため、対馬丸撃沈事件が知られるようになったのは戦後しばらく経ってからである。大人が起こした戦争のために理不尽にも幼い子供たちが多数犠牲になったことから戦後「“学童疎開船”対馬丸の悲劇」として語られるようになっていった。

4 「対馬丸記念館」の開設

戦後5年がたった1950年10月、対馬丸撃沈事件の犠牲者の家族たちは「対馬丸遭難学童遺族大会」を開催し、遺族会の活動をスタートさせた。1997年、

遺族会からの要請に基づいて行われた悪石島沖海底搜索の結果、12月12日船体が発見された（北緯29度31.93分、東経129度32.90分、水深871m）。遺族は引き揚げを要求したが政府はこれを不可能とした。犠牲者の遺骨は、いまなお、冷たい海の底に眠ったままの状態にある。船体引き揚げの代替案として「記念館」の建設が持ち上がった。2001年6月記念館が全額国庫補助で建設されることが決まり、対馬丸遭難者遺族会は財団法人対馬丸記念会を組織し、記念館建設のための独自運営を始め、2004年8月22日に対馬丸記念館が開館した。

また、1962年に沈没の海を臨む悪石島西海岸に対馬丸慰霊碑が建立された。

2017年3月には、数少ない生存者と多くの犠牲者が流れ着いた奄美大島、宇検村の船越（フノシ）海岸に、「対馬丸慰霊の碑」が建立された。

対馬丸記念館では、二度と子供たちが悲惨な戦争に巻き込まれないよう、未来に向かって平和のメッセージを発信している。

* 参考文献：対馬丸記念館見学用資料

対馬丸記念館

沖縄県那覇市若狭1-25-37

TEL 098-941-3515